

30pmS-028

女子中高生の医療系理系進路選択を支援する取り組み「未来の医療を支えるのはあなた」

○岡田 みどり¹, 中村 裕子¹, 佐藤 梓¹, 酒向 加菜子¹, 高桑 雄一¹, 川上 順子¹, 田中 美恵子², 佐藤 紀子², 笠貫 宏^{1,2} (¹東京女子医大医, ²東京女子医大看護)

【目的】東京女子医大では、今年度「未来の医療を支えるのはあなた」として「JST女子中高生の理系進路選択支援プログラム」を実施した。理系進路の中で医療に関わる分野は、医学、看護、薬学、栄養学、理学、工学など非常に多彩であり、またそれらの学部を卒業した女性の活躍する場も多岐にわたるが、意外にこれらについて中高生も保護者・教員もよく知らないことが多い。この取り組みでは、多くの理系学部が医療を支えていること、またそこで学ぶことの楽しさ、卒業後の多様性などを知ることによって、将来への展望について視野を広げてもらおうことを狙いとして全7回の様々なプログラムを実施した。この取り組みにより、生徒の医療に関わる理系進路への興味、その道を目指すために学ぶ姿勢などに変化があったかなどこのプロジェクトの有効性について検証した。【方法】このプロジェクトは、本学医学部・看護学部を初めとして、学内の先端生命医科学研究所、東京薬科大学薬学部・生命科学部、早稲田大学先端生命医科学センターなどが協働して実施した。プログラムは、医療シミュレーション機器を用いた体験学習、2日間にわたって行う実験講座、最先端の研究室での研修、模擬薬局での体験学習、多様な職場で活躍する女性講師のミニレクチャーと交流会などで、さまざまな切り口から医療系の進路を考える設定とした。参加対象は中学2年生から高校2年生およびその保護者・教員とし、各回でアンケートを実施した。【結果】生徒のアンケート回答者173名中「取り組みに参加して理系への進学に前向きになったか」に「とてもそう思う」「そう思う」と答えたのは169名(98%)で、「今回の取り組みへの参加をきっかけに、理科や数学に対する学習意欲は高まったか」についても169名(98%)が同様に答えており、取り組みの有用性が実証された。